

## アメリカにおける小学校ウェブサイトの「コンテンツ」分類と分析

庾 海 媛\*, 椎 名 健\*\*

## An analysis and the Classification of the Website Contents of Elementary Schools in the US.

Haiyuan YU, Ken SHIINA

本研究はアメリカにおける小学校ウェブサイトのコンテンツの分析である。今回は50州およびDCにおける60の小学校ウェブサイトのコンテンツが調査の対象になった。それぞれのコンテンツは目的や役割に応じて下位の小項目に分節された。その結果、104個のアイテムが生成された。次に、104アイテムは大きな目的に順って5つの類にまとめられた。また、各類に入っている小項目はさらに役割の類似性により群化され、それぞれの群に名前がつけられた。次にその群は上位の群として束ねられ、命名された。この手続きが必要な回数繰り返された。最終的に、5類5階層に構造化された。この構造の妥当性を見るために、三次調査で、新たに抽出した5小学校のウェブサイトからコンテンツのアイテムを収集した。その結果、のべ113アイテム中111アイテムがこれらのアイテムと構造に照合された。また、2アイテムを追加して106アイテムに増えたが、上位の階層を変更するものではなかった。このようにアメリカにおける小学校ウェブサイトのコンテンツの一般型を示すことが検証された。従って、このアイテム（現在106個）と構造はアメリカにおける小学校ウェブサイトのコンテンツについて一般的特徴を示している。

This research is an analysis of contents of the elementary school Website in the United States. The contents of Website in 60 elementary schools in 50 states + 1DC were investigated. The contents were divided into small units (items) according to their specific role or purposes. As the result, 104 items were accumulated. Then, 104 items were grouped into five Kinds according to their grand goals. For each Kind the items relating to its goal were collected and then were divided up into a number of classes according to their common objectives. This grouping procedure was repeated as many times as needed. The final structure of all items became 5 Kind-5 Hierarchies. The validity of the structure was tested by checking up the website contents of 5 randomly pulled elementary schools. Among the total of 113 items in those Website contents 111 items were found in original 104 items. The two residual items were inserted into the structure without changing the higher Hierarchies. Thus the validity of the structure was verified. Therefore, these items (now counts 106) and the structure showed a generic form of contents of the elementary school Website in the United States.

\* 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程  
Doctoral Program  
Graduate school of Library, Information and Media studies, University of Tsukuba

\*\* 筑波大学図書館情報メディア研究科  
Graduate School of Library, Information and Media Studies, University of Tsukuba

## 1. はじめに

ブロードバンドの高度化と普及において期待以上の発展を見た結果、情報ネットワークのインフラは世界的規模で整ってきた。しかしながら、ユーザの立場から言うと、そもそも立派な通信設備や通信環境を欲していたわけではなく、高度化したツールを欲していたわけでもない。ユーザが欲しているのは、そのインフラを介して得られる「コンテンツ」そのものであるだろう。また、一般にウェブサイトのユーザビリティが問題になる場合、見やすい、分かりやすい、そして使いやすいという機能的条件が取り上げられて、ウェブサイトの視覚的・行動的デザインやインターフェースが研究される。ところが、コンテンツの中味について言及されることは少ない。この理由は、コンテンツは発信者の特性により全く内容が異なるので、一般性のある研究になりにくいという事情があるためであろう。本研究は、あえてそのコンテンツの中味に踏み込むもので、対象とするコンテンツとしては、小学校ウェブサイトに焦点を当てることとした。コンテンツが質的にも量的にもユーザの求めるものとなることが、ユーザビリティの高いウェブサイトの必要条件となるはずである。

ウェブサイトのユーザビリティについてコンテンツの面から述べておこう。ウェブサイトの構築とは、利用者が目的の情報に容易にアクセスできるように、「コンテンツ」の要素を的確に命名し、これらの機能的つながりの樹構造を実現することである。ウェブサイトのコンテンツをわかりやすく構造化することはユーザビリティの向上につながる。そのためには、①利用者に必要な内容（目標項目）が存在すること。②目標項目が的確な命名の下に見つけやすいように配置されていること。すなわち、ウェブサイトにはあるべきコンテンツが、あるべき位置に置かれていることが、コンテンツから見たユーザビリティとなる。したがって、小学校ウェブサイトに関して言えば、小学校ウェブサイトとして必要なコンテンツはどのようなものであるのかという研究が必要になる。言い換えると、ウェブサイトのコンテンツを開発目的に照らして明確な構造化を準備することにより、利用者に提供する情報をスムーズに伝えることが可能になる。

学校ウェブサイトを経営の窓口と例えると、「コンテンツ」は金融商品に例えられる。お客様の満足度を向上させるためには品質揃いの商品を用意することと同様に、ウェブサイトのユーザに対する満足度を向上させる

には豊富で良質な「コンテンツ」開発が必須である。

小学校ウェブサイトは、今でも、学校情報の開示の場であると同時に、保護者・地域・教育関係者にとっては学校について知る窓口であり、また児童の学習と学習発表の舞台でもある。昨今はさまざまな学習ソフトやシステムが開発され、教科ごとのメディア教材が作られている。このような学習教材を含めて、いつでもどこでも誰でも（ユビキタス）が、アクセス可能な場を求めるとすれば、学校ウェブサイトは最適な窓口となりうる。教材は教師自ら作成しても良いし、教師の目をパスした質の良いサイトにリンクを張ることもできる。情報教育への対応に関しても小学校ウェブサイトの役割に対する期待が大きい。しかし、小学校ウェブサイトを立ち上げ、これを維持するには現場の教師等の負担が実に大きくなる。高度情報化時代の期待に対応するために必要な時間的ゆとりがないことに加えて、現場を支援する機関も少ない。人的・技術的なサポートの貧困が、日本の学校ウェブサイトの開設率において海外に立ち後れることとなった理由かもしれない。

『全国の学校基本調査データ』によると、2005年度日本公立小学校数は22,857校であり、本研究の調査によると、日本における小学校のウェブサイト開設率は2002年で約27%、2003年では約49%、そして2004年では約66%となっている。一方、Center for Education Reformの報告によると、2005年度アメリカ公立小学校の総数は65,228校である。更にNCES（National Center for Education Statistics）の調査（Figure.1）によると、アメリカにおける小学校のウェブサイト開設率は、2001年で73%（約）、2002年では85%、2003年では87%にまで達していた。このような状況の中で、小学校ウェブサイトの急速な普及とその利用について新しい展開が期待される今こそ、「コンテンツ」の特徴とサイトの活用法に関する現状把握と今後の展望に向けた研究が焦眉の急である。

## 2. 関連研究

小学校ウェブサイトを「コンテンツ」の側面から評価した関連研究として、豊福（1996）<sup>[1]</sup>の「学校ウェブを作る」と、市川・鈴木<sup>[2]</sup>の「日本における小・中・高等学校WWWホームページの調査研究」（1999）、および、庾・椎名<sup>[3]</sup>の「日本における小学校ウェブサイトの開設数調査とコンテンツ分類の試み」（2003）がある。

まず、豊福の「学校ウェブを作る」は、学校ウェブサイトの意義を発信目的ごとに、「学校の広報としての役

割」,「デジタルリソースアーカイブ」,「コラボレーションのための呼びかけ」,「コミュニティの窓口」の四つに分けた。

次に、市川、鈴木の研究は黎明期（1995年から1996年）における日本の小・中・高等学校ウェブサイトの調査であった。調査対象は当時見つけれられる限りの学校ウェブサイトであったが、1995年8月で98件、1996年1月で251件、1996年8月では603件と報告している。ウェブサイト「コンテンツ」は、ディレクトリ構造を再現するためオートパイロットソフト「波乗野郎」(ver.10)と「Local Internet Builder」(ver.0.82)で、「コンテンツ」を収集していた。その第1回調査では独創的なウェブサイトを同定した。第2回調査ではコンテンツのカテゴリ分類を行い、類似したものの同志を集めて上位カテゴリにまとめ、それを第一カテゴリとし、詳細な内容を示す項目を第二カテゴリとして構成した(付録1.参照)。第3回調査ではコンテンツの発信目的ごとに「広報」・「デジタルアーカイブ」・「コラボレーション」・「収集」・「個人情報」に分け、それぞれのコンテンツを分析した。更に、小学校ウェブサイトの新たな活用法として、授業実践の報告や、ウェブサイト上で行われていた共同プロジェクト、子ども達による情報発信などを挙げていた。この研究は小・中・高等学校ウェブサイトに対して、初めての内容の側面も含めた考察であった。

庾・椎名の研究は、まず、全国小学校ウェブサイトの件数を明らかにして、2002年までのウェブサイトの増設数の推移を読み取った。注目されるのは、2002年全国小学校ウェブサイト開設率は27%であった時に、つくば市の小学校では、既にすべての小学校がウェブサイトを開設していた。次に、小学校のウェブサイトの発信内容について調査した。そのために、まず、ウェブサイト開設100%を誇るつくば市の全小学校のコンテンツを精査し、豊福の「学校ウェブを作る」による小学校ウェブサイトの発信目的と、市川・鈴木のカテゴリ分類と発信目的を基にした形で、コンテンツを「4類」に大分類し、さらに、それぞれを2階層に階層化し、「4類・2階層」の構造化を行った。また、それぞれのコンテンツの具体的な発信項目ごとの開設率を示した。すでに100%の開設率に達したつくば市の小学校においては、今後のウェブサイトに関して考えられる展開は、その「コンテンツ」をいかに充実していくかという点に絞られると結論した。このつくば市の調査は、その後、日本の小学校ウェブサイトの「コンテンツ」分類とその構造化を試みた研究(論文準備中)のプロトタイプとなっている。

ところで、つくば市の全小学校ウェブサイトの「コン

テンツ」の具体的な発信項目として全部で33項目が生成された。続いて市川・鈴木のウェブサイト公開目的の分類枠に一部を追加する形で、33項目を「4類・2階層」に構造化した。しかしながら、その時点で「ネットワーク」そのものに関する3項目は、コンテンツの内容ではないとして除外した。今の時点で再考すると、ネットワークに関する項目も広くコンテンツであるとみなすのが適切である。そこで、「5類・2階層」(付録3.参照)と改めて考える方が適切である。まず、「類」とは大枠的な開設目的を示す。階層は、目的の下位クラスターである。第1類「学校の広報としての役割」は学校概要を中心とする内容であり、第2類「デジタルリソースアーカイブ」は学習や活動などの情報の共有空間であり、第3類「コラボレーションのための呼びかけ」は学習の発表を中心とする内容であり、第4類「コミュニティの窓口」はPTA、卒業生向けの交流の場、そして、第5類「ネットワーク」はネットワークの管理やネットワークを通じた学習を中心とする内容であった。また、第1・2階層は各類の下位分類として構造化された。この最下位の項目はサイト利用者が実際にアクセスする目標のリストである。

### 3. 関連研究の問題点

変化の著しい現代は数年を経ただけで情報が古くなる。先行研究の問題点になる事項は主としてそうした時の流れであった。

(1) 情報教育のインフラ整備により、学校ウェブサイトを取り巻く環境も大きく変わったので、黎明期の研究は、コンテンツの種類も、その構造も現在に適用できないと思われる。変化の急な時代では、数年前の研究でさえ今時点の状況とは異なることが考えられる。

(2) 小学校ウェブサイトの特化した研究が少なかった。小・中・高等学校がそれぞれの教育目標が違ってくるにより、ウェブサイトの発信目的とニーズもそれぞれ違ってくる。そこに、小学校ウェブサイトに焦点を絞った研究の必要性がある。

(3) 日本国内の学校ウェブサイトの研究が限られていた。日本の小学校ウェブサイトを見ると、「コンテンツ」が相互によく似ている。将来は「コンテンツ」の種類と活用法が多様になっていくと思われる。その点で、海外の小学校の状況を把握する意味が大きい。

これらの問題に対処するため、本研究では海外の小学校の実情を調査することを考え、先進的なアメリカの小学校ウェブサイトにおける「コンテンツ」を対象とする

調査研究を試みた。これによって、日本の将来の小学校ウェブサイトに適した、新しい「コンテンツ」とサイトの活用法が見えてくると思われる。

#### 4. 研究目的

本研究の目的は情報先進国であるアメリカにおける小学校ウェブサイト「コンテンツ」を調査・分析することを通して、日本の小学校ウェブサイトの将来的な可能性を探ることと、また、コンテンツの側面からユーザビリティを高めるための基礎資料を提示することである。

次のステップとして、日米両国の小学校ウェブサイト「コンテンツ」の調査から、より適正な分類と構造化を試み、分かりやすい、使いやすい小学校ウェブサイトとしての「コンテンツ」の条件を選定していく。今回の研究はその基盤となるものである。小学校ウェブサイトの将来を見越したコンテンツの提案ができれば、各地の小学校でウェブサイトを構築したり改善する際に、その手本として利用でき、また、新しいウェブサイトの利活用についてヒントが得られることを期待する。

#### 5. 調査

本研究は同じ時期に実施した日本の小学校ウェブサイトの分析（論文準備中）と対をなすものである。調査対象となるのはアメリカの60地区の小学校ウェブサイト「コンテンツ」、つまり小学校ウェブサイトの発信内容である。しかし、コンテンツの表現手法（視覚的デザインや操作性）に関しては、今回の研究の対象外とする。

アメリカの行政区分は50州+1DCである。本研究ではアメリカの小学校ウェブサイトの「コンテンツ」について、50州+1DCから、一次調査では9州から2校ずつ、全18校のウェブサイトの「コンテンツ」を収集し、二次調査では残りの41州+1DCから各1校ずつ、全42校のウェブサイト「コンテンツ」を調査した。一次調査と二次調査を経て多数のコンテンツ小項目を分類し、その構造化を試みた（付録2. 参照）。

構造化されたコンテンツはアメリカの小学校ウェブサイトの「一般型」として見ることができる。その理由として、第一に、広く全米の50州+1DCからサンプル校を抽出していること、第二に、比較的コンテンツの質が高いウェブサイトを選定し、バラエティの豊かなコンテンツが収集できたこと、そして第三に、一次調査と二次調査で生成した小項目のグループ化を繰り返して出来上がったコンテンツのアイテムとその構造が、アメリカの

小学校ウェブサイトで発信している多くのアイテムを含み、また多くの構造を包含するものになっていることである。第四に、分類表の妥当性を見るために三次調査をし、これを「一般型」と見なせることが検証できた。調査対象校5校中、3校中のすべてのアイテムが本研究の分類枠組みに含まれていた。残りの2校が本研究のアイテムに含まれていないアイテムを1つずつ含んでいた。しかし、上位の階層を変更することなく2アイテムを組み入れることができた。

##### 5.1 調査の流れ（図1. 参照）

本研究では、アメリカの小学校ウェブサイトの「コンテンツ」について、一次調査と二次調査を経て分類し、その構造化を試みた。アメリカの行政区分は50州+1DCである。一次調査では、アメリカ全土を9エリアにわけ、それぞれのエリアを代表する9州の文教区域から各2校ずつ、全18校のウェブサイトの「コンテンツ」を収集した。二次調査では、更に範囲を拡大し、残りの41州+1DCから各1校ずつ、全42校のウェブサイト「コンテンツ」を調査し、一次調査で生成した小項目を基礎に、新たなコンテンツの小項目を加えた。こうして得られた多数の小項目を開発目的に着目したグループ化を繰り返すことにより、「コンテンツ」項目の構造化が進められた。構造化されたコンテンツ項目はアメリカの小学校ウェブサイトの一般型として見ることができ、また、日本の小学校ウェブサイトとの比較を可能にし、日米相互に未来のウェブサイトの方向性を占う一助になりうる。また、ウェブサイトの新たな活用法が示唆されることも期待される。

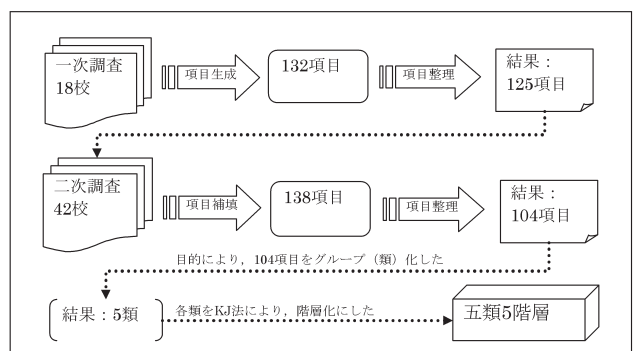


図1. アメリカ小学校のウェブサイト分類の流れ

##### 5.2 一次調査

###### 5.2.1 目的

アメリカの小学校ウェブサイトの概要をつかむため、少数の小学校についてサイトの「コンテンツ」进行分类する。この分類は、二次調査で42小学校ウェブサイトの



コンテンツを分類するための枠組みとして役立てる。

## 5.2.2 方法

### 対象

アメリカの9州から各2校ずつ、全18校のウェブサイトの「コンテンツ」を対象とした(付録4.参照)。国土面積の広いアメリカを東西南北の格子状に九つのエリアに分け、それぞれのエリアに当てはまる1州から各2校ずつを選択した。

### 調査対象校の選定

全米を9エリアに分け、各エリアから無作為に1つの州を選択し、各州内でランダムに数校の小学校を選択、その中で最も充実したウェブサイトを持つ小学校2校を選択した。

学校の選択はウェブサイト[[greatschools.net](http://greatschools.net)]を利用した。

URL <http://www.greatschools.net/?state=MA>

[[greatschools.net](http://greatschools.net)]はアメリカの独立非営利団体である。運営と活動の主な目的はK-12(幼稚園から高校まで)を対象とする、学校経営の総合的な評価と保護者の学校選びを支援すること。アメリカ全土の小学校リストと小学校の基礎情報が豊富に掲載されている。

### 期間

2005年5月上旬から6月中旬

### 手続き

インターネットオンライン調査法により、対象となった18校のウェブサイトの「コンテンツ」を読みながら、まずウェブサイトにおける階層に関係なく、「コンテンツ」を細分化して小項目を生成した。これをエクセルに収集する。リンクが張られている場合はリンク先の内容も確認しながら、コンテンツの最小単位となる小項目を生成した。次に、クロス集計表(学校/項目)を使って、各学校と各小項目間の関係をクロス表に記入した。

### [小項目生成と一次調査の結果]

小項目生成の基準は、何を狙いにした項目であるか、発信している情報はウェブサイトにおいてどんな役割を担っているのか等、その「開設目的」に即して最小化された内容になっているかという観点であった。つまり、ユーザがウェブサイトをアクセスするときの最終の目的先である。その目的から見た内容を、「～のための～」の形式で、できるだけ小さなユニットとし、いくつもの「小項目」を生成した。(ここで「小項目」とよぶ理由は、第二次調査では統合再整理して、新しいバージョンのコンテンツの単位として『コンテンツ・アイテム』(略称: アイテム)を設定するので、それと差別化するためであ

る。)

基準に従って生成した「コンテンツ」の小項目は、その内容と設定目的が分かるように命名し1項目を1カードに記入した。その結果、総数132枚になった。さらに、132枚のカードを一覧し、「コンテンツ」の小項目名と内容そのものが重複する小項目は統合し、内容の一部が包含されない小項目に対しては分解して、別的小項目とみなして、「コンテンツ」小項目を命名整理した。

## 5.2.3 結果

一次調査の18小学校のウェブサイトコンテンツから125個の小項目が生成された。

## 5.3 二次調査

### 5.3.1 目的

一次調査の小項目生成にならって、残りの41州+DCから全42校のウェブサイト「コンテンツ」の小項目を補充生成し、次いでグループ化と構造化を行った。

### 5.3.2 方法

#### 対象

50州+1DCの中で、一次調査の9州を除く41州+1DC(付録5.参照)から、各1校ずつ選び、全42校のウェブサイト「コンテンツ」を調査対象とした。

#### 調査対象校の選定

情報の先進性を考慮して、文京区域の小学校を主に選んだ。そのため、州立大学の近隣から3校の小学校のウェブサイトを見比べて、最も充実したコンテンツを持つ小学校を1校選択した。

#### (1) 文京区域の選定

下記のウェブサイト「アメリカ留学☆大学選び」から各州について州立大学を選定し、大学の住所を確認した上で、周辺の小学校のウェブサイトをアクセスした。複数の州立大学がある場合は無作為に1大学を選定した。

<http://www.dd.ij4u.or.jp/~bob-tail/syubetsu.htm> (アメリカ留学☆大学選び)

#### (2) 小学校の選定

アメリカの小学校と小学校のウェブサイトを決めるために、一次調査と同様にウェブサイト[[greatschools.net](http://greatschools.net)]を参考にした。[[greatschools.net](http://greatschools.net)]から(1)が定めた大学の近くの小学校を探し、更に[Google]から小学校のウェブサイトを検索した。

#### 期間

2005年6月下旬から8月上旬

#### 手続き

### 〔集計〕

一次調査の125小項目を骨子に、インターネットオンライン調査法により、42校のウェブサイト「コンテンツ」から生成したアイテムをエクセルに収集した。一次調査と同じく、リンクとリンク先の内容を確認しながらアイテムを設定した。次に、クロス集計表(学校/項目)を使って、各学校と各小項目間の関係をクロス表に記入した。

### 〔グループ化・階層化〕

(1) 一次調査にならい、42校のウェブサイトを調査した。小項目生成の基準は一次調査の小項目基準と同様に、開設目的によって決定した。「コンテンツ」の集計は、一次調査にない小項目を追加し、類似の小項目は統合した。追加した小項目はそれぞれ1カードに記入したので、全138枚の小項目のカードになった。更にそれらのカードを一覧し、内容の重なる小項目を統合した結果、「コンテンツ」は104個にまとまった。これを「コンテンツ・アイテム」と呼ぶことにする。この104アイテムは、最終的なコンテンツ構成図(付録2.参照)の最下位の階層に並ぶアイテムである。

(2) 次に、104アイテムを目的によってグループ化した。その結果、「広報」・「まなび」・「交流」・「情報メディア」・「ネット管理」の5つの「表札」の下に組み込まれた。このグループを「類」と呼ぶ。各「表札」は発信目的に沿って命名された。

(3) それぞれの類に属しているアイテムをグループ化する。ウェブサイトで分かりやすく表現するために、開設目的・発信目的の基準に従って、何を狙いにした項目であるか、発信している情報はウェブサイトにおいてどんな役割を担っているのか等、その「発信目的」に即してKJ法でグループ化する。その結果、最大5階層にグループ化された。第1階層は、類の下位クラスターであり、階層が下がるごとに具体的な内容になる。なお、各「類」内の階層数はそれぞれ異なり、第2階層から第5階層に渡った。

(4) 各階層の区分に適切なクラスター名(「表札」)をつけるために、クラスター名を選定したが、その選定基準は、「情報がわかりやすく伝えられること」であった。例えば、「クラス通信・クラスだより・毎月のニュースだより」をまとめて、上位のクラスを「クラスだより」とした。「たより」は手紙に近い意味あい、「通信」は郵便や電話によって連絡する意味合いで、実際の内容から考えると手紙の意味合いが強い。更に、できるだけひらがなにすることによって、大切な情報が大人も子どもも理解できるように配慮した。

(5) 第1類「広報」は学校の沿革・立場・視点・役割・経営などを理解させ、広めることを目的にした内容である。第2類「まなび」は学校が主な役割を果たしている授業学習・実習・イベント・クラブ・研修活動を目的にした内容である。第3類「交流」は学校運営をサポートしていくため、学校と保護者と地域との連携活動を目的にした内容である。第4類「情報メディア」は学習とコミュニケーションの情報収集のメディアと、そのメディアの利用と管理に関する内容である。第5類「ネットワーク」管理は学校の情報システム管理を主な内容としている。具体的に、例えば第1類の「広報」という目的を実現するために、第1階層は「最新情報」・「たより」・「学校のかたち」・「学校のしょうかい」・「アクセス」という5つの下位クラスターに区分され、区分に名前がつけられた。更に、「たより」という目的の第2階層で、「学校だより」・「学級だより」・「クラスだより」・「校長室だより」という「アイテム」にたどり着く。一方、「学校のかたち」から、「経費」、「収入」、「寄付」と階層をたどると、第5階層になって「方法」「窓口」「リンク集」という「アイテム」に行き着く。

## 6. 結果

アメリカの60小学校ウェブサイトにおける「コンテンツ」104アイテムを「5類・5階層」に構造化した(付録2.参照)。そのうち、各類の第1階層までを図2に示す。第4類だけは第2階層まで示した。特にアメリカの小学校ウェブサイトの特徴的な部分は図書館、及び情報メディアに関連している。その部分だけ背景色を変えてある。

次に、アイテム別の公開状況を類ごとに示す。第1類は図3、第2類は図4、第3類は図5、第4類は図6、第5類は図7の順で述べる。これらはクロス表から集計した結果をグラフで表し、アイテム別の公開数を示している。

第1類「広報」(図3.参照)は主に学校が提供する情報で構成されている。全体的な内容として、学校の紹介、学校運営、学校だより、学校生活を取り巻く環境の紹介などである。「広報」の中で、アイテムは全部で59アイテムあった。最も多く発信された「コンテンツ」は、「WEBアドレス・E-mail」(51校)・「代表TEL/FAX」(51校)・「住所」(51校)、その次に「方針」(40校)・「目標」(39校)・「特色」(39校)の順になっていた。60の小学校のうち、第1類「広報」のアイテムをすべて発信している小学校はなかった。

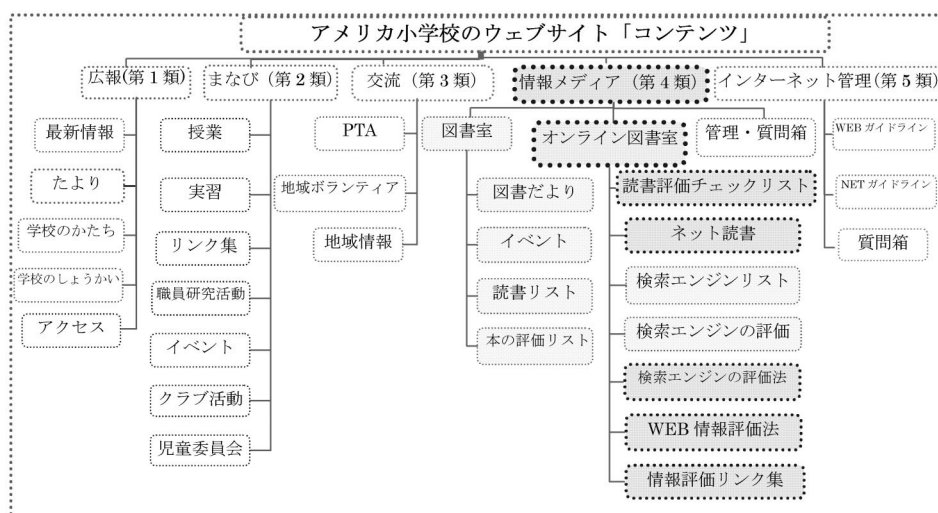


図2. アメリカ小学校のウェブサイト「コンテンツ」構成図

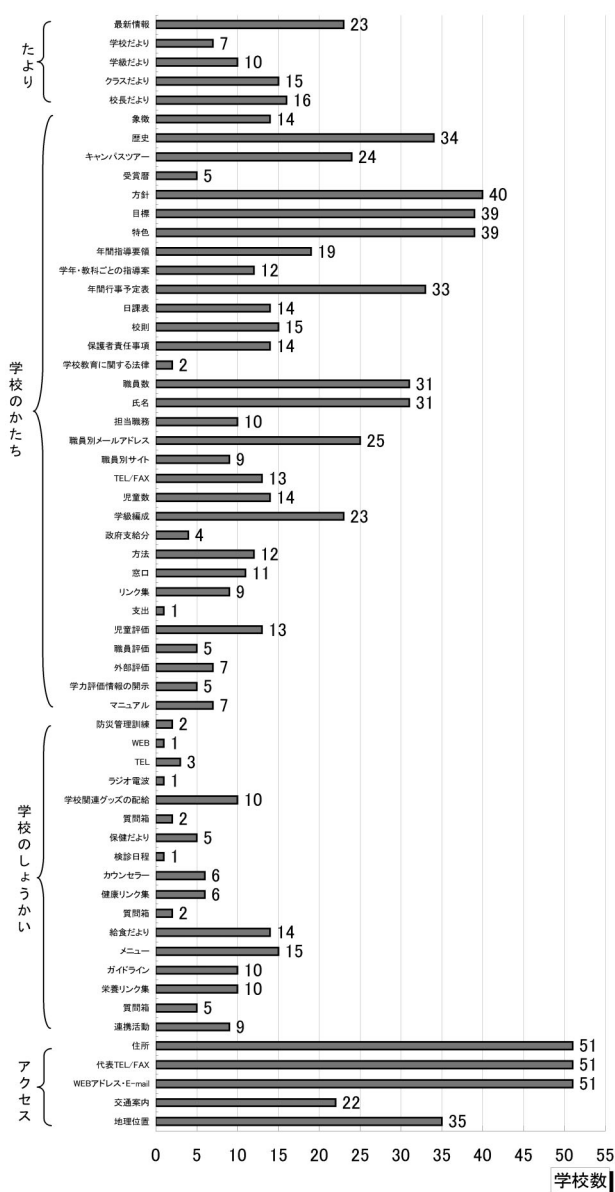


図3. 第1類「広報」(59アイテム)

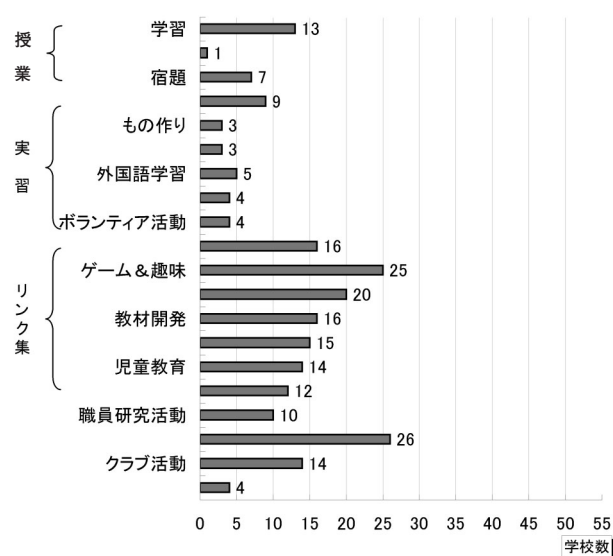


図4. 第2類「まなび」(20アイテム)

第2類「まなび」(図4.参照)は、学校及び地域・家庭でのさまざまな学習、教科学習、放課後の学習、体験活動に関する分類である。児童にとっては学校活動における一番大切な内容であり、学校教育指針などが具体的に見えてくる部分でもある。ここは全部で20のアイテムによって構成された。公開数が最も多い「コンテンツ」は「イベント」活動(26校)で、次にリンク集に属している児童関連の「ゲーム&趣味」リンク集(25校)であった。

第3類「交流」(図5.参照)は学校・PTA・地域などによる連携活動や意見交換・交流活動などに関連する分類である。中核の教育活動を支援する役割を果たしている。全9アイテムで構成されていた。公開数が多い「コンテンツ」は「PTAだより」(18校)、次にPTA「イベ

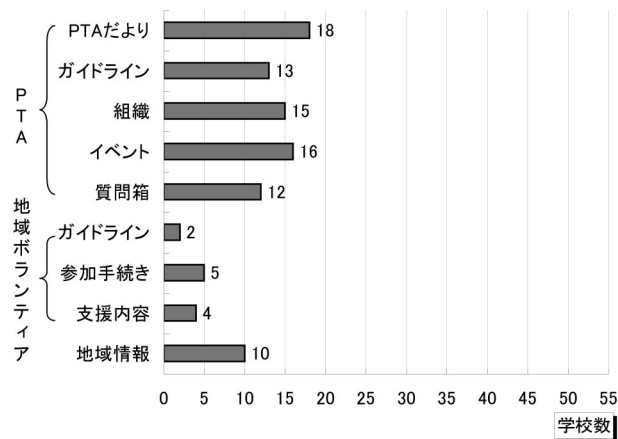


図 5. 第3類「交流」(9 アイテム)

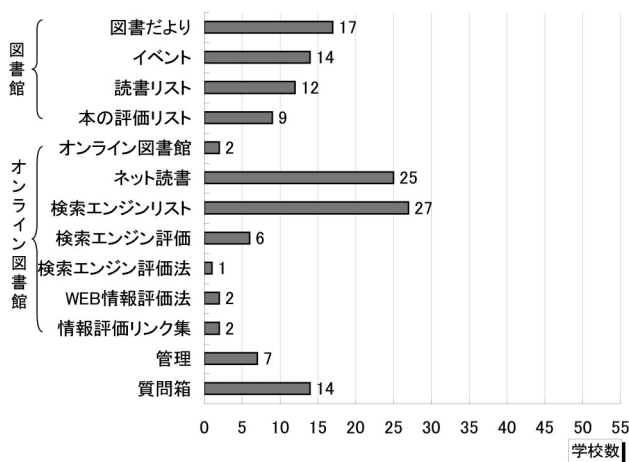


図 6. 第4類「情報メディア」(13 アイテム)

ント」(16校)活動の順であった。

第4類「情報メディア」(図6.参照)は、情報の取得という目的からアイテムを構成している。図書室の活動を含め、学校ウェブサイトを紹介して学習すること、情報を得ること、情報の評価方法を学習することを主な内容としている。現在では、図書室での学習に加えて、学校ウェブサイトを経口とするネットワーク学習は、調べ学

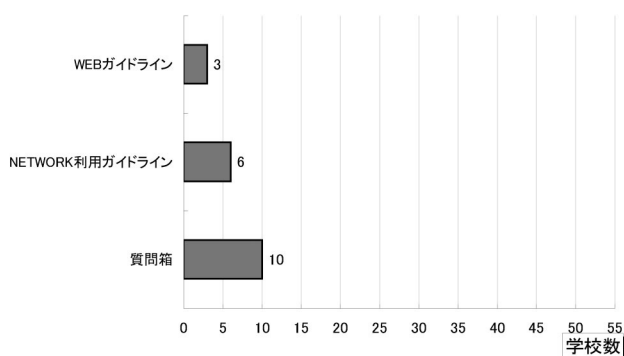


図 7. 第5類「ネットワーク管理」(3 アイテム)

習に欠かせない手段となっている。第4類のアイテムは全13アイテムからなっている。その中で公開している小学校数の多いアイテムは「検索エンジンリスト」(27校)、次に「ネット読書」(25校)、「図書だより」(17校)となっていた。

第5類「ネットワーク管理」は図7に示されるように、3個のアイテムからなっている。これらのアイテムは、学校の情報システムとウェブサイト利用に関連した管理が主な目的である。開設学校数は、問い合わせ窓口になっている「質問箱」(10校)、「NETWORK利用ガイドライン」(6校)、WEBガイドライン(3校)であった。

## 7. 妥当性の検証

### 7.1 目的

一次調査と二次調査から集計・分類した「コンテンツ」「5類・5階層」(104アイテム)の構造がアメリカ小学校ウェブサイトの「一般型」とすることの妥当性を検証した。

### 7.2 方法

#### 対象

アメリカの小学校のウェブサイトをランダムに5校を(付録.6)選び、今回の調査対象とした。この5校はすべて異なる州から選択された。

#### 期間

2006年1月16日ー18日

#### 手続き

アメリカの60小学校ウェブサイトから集計・分類された104アイテムに基づいて、調査対象校のウェブサイトコンテンツを、それぞれの目的や役割を考慮してアイテムを決定し、エクセルを用いて集計した。

### 7.3 結果

5校の名前をそれぞれA, B, C, D, Eで表示し、集計からA校は20アイテム、B校は18アイテム、C校は24アイテム、D校は30アイテム、そしてE校は21アイテムを数えることができた。なお、二次調査時、42校の平均公開アイテム数は34アイテムであった。

A校とC校とE校とのアイテムはすべて本研究の分類枠組みに含まれていた。B校の18アイテム中の1アイテム「新入生の案内」と、D校の31アイテム中の1アイテム「学校ウェブサイト評議委員会」が新しいアイテムであり、これまでのアイテムに含まれていなかった。含まれていなかったアイテムは、枠組みの中に新たに付



加し、再編集した(付録2の太字のアイテム)。「新入生の案内」は第1類「広報」第1階層「たより」の下位階層に、「学校ウェブサイト評議委員会」は第5類「ネットワーク管理」第1階層の下位階層に組み入れた。検証の結果から、のべ113アイテム中111アイテムがこれまでの分類に該当することが示された。また、2アイテムを追加して106アイテムに増えたが、上位の階層を変更する必要はなかった。したがって、本研究の「5類・5階層」104アイテムは高い妥当性を示したといえる。

## 8. 考察

本研究を庾・椎名による2002年度日本の小学校ウェブサイトの調査結果と比較し、日米のウェブサイトにおける「コンテンツ」の公開数と活用法の違いについて考察する(付録2.と付録3.参照)。生成されたアイテム数は、アメリカでは106アイテム、日本では36アイテムであった。下記のNo.はアメリカのアイテム番号を示している。

第1類「広報」(No.1-59)という目的で分類されたアイテム数は、日本で15、アメリカでは59アイテムであった。アイテム数の違いについては時期が異なるので重大視しないこととし、「コンテンツ」の公開学校数と活用法から考察してみる。まず、日本にはない「コンテンツ」として特記されるのは、アメリカの小学校のサイトには「校則」(No.15)・「保護者責任事項」(No.16)・「学校教育に関する法律」(No.19)など、学校生活に関する児童や保護者への「きまり」(No.17-19)が公開されていることである。学校ウェブサイトを通じて公開することによって、学校の教育方針や特色などを知るだけでなく、「きまり」を守って学校生活を送ることの大切さについて児童や保護者に理解を求めていると言える。

次に、「児童評価」(No.33)・「教員評価」(No.34)・「外部評価」(No.35)・「学力評価情報の開示」(No.36)など、学校全体にわたる内部及び外部の評価の開示が特色として挙げられる。各種評価の公開によって、学校関係者と保護者はもちろん、それ以外にも学校に対する理解が深まると言えよう。アメリカでは「職員別メールアドレス」(No.23)・「カウンセラー」(No.46)など多数の連絡窓口を設置することによって、さまざまなユーザが時間、場所に関係なく、ユビキタス時代にふさわしい質疑のやり取りができるようになっていることも特色として目につく。検証により追加された「新入生案内」はユーザ層を広げることに期待できる。

第2類「まなび」(No.60-79)という目的で分類された

アイテムは、庾・椎名の研究では「デジタルリソースアーカイブ」の類に入っていた。今回のアメリカの調査では「まなび」という類を新設した。日本の小学校ウェブサイトのコンテンツ分類の際に採用した「デジタルリソースアーカイブ」は、主に、学習活動データの蓄積であり、学習活動の一部に過ぎなかった。アメリカの小学校ウェブサイトにおいては校内・校外での学習やイベント活動などの公開や学習リンク「リンク集」(No.65-75)を用いる調べ学習、「宿題」(No.62)の掲示など幅広い内容を含み、従来の枠組みでは網羅しきれなかった。このリンク集や宿題などは日本のウェブサイトには見られないアイテムであった。毎日の「宿題」に関しては、宿題の内容提示だけではなく、宿題を成し遂げるために有用なリンク集や参考資料が提示されていた。学習の「リンク集」は、児童と教師に役立つだけでなく、親に向けて発信されていると思われ、子育て情報、「児童教育」(No.74)や子育ての「関連法律」(No.74)も多く見られた。

第3類「交流」(No.80-88)という目的で分類されたアイテムは、日米の差はあまりなかった。ただ、アメリカでは学校活動のための「地域ボランティア」(No.85-87)を募集している学校が多かった。

第4類「情報メディア」(No.89-101)という目的で分類された「類」は、今回の調査で新設された。情報収集およびその方法を学ぶという目的を実現するアイテムであった。「情報メディア」は学校「図書室」(No.89-92)と「オンライン図書室」(No.93-99)をまとめたクラスターである。図2で薄い背景色のクラスター(「図書室」など)は日・米に共通した「コンテンツ」であり、濃い背景色のクラスター(「オンライン図書室」など)はアメリカのウェブサイト特有の「コンテンツ」であった。

アメリカでは、情報リテラシー教育がネットを通して与えられているが、今後の日本の小学校においても参考になると思われる。特に、インターネットを利用する際に、有意味な情報であるかどうか、情報の質を評価する方法の学習は、学校ウェブサイト窓口として与えられている。情報の善し悪しを評価する方法を公開し、評価方法を公開しているウェブサイトを選定してリンク集としてリストアップされていた。情報の質の評価能力は情報リテラシーとして重要な一面である。今後の方向性として、「図書室」、「オンライン図書室」、及び「管理」(No.100)・「質問」(No.101)を融合した「情報メディア」分野に関して学校ウェブサイトが重要な役割をもつことが考えられる。

第5類、学校の「ネットワーク管理」(No.102-104)に

関するアイテムは、庾・椎名の研究ではネットワークの管理と、ネットワークを通しての学習が内容になっていた。今回は、ネットワーク管理を独立させ、ネットワークを通しての学習は、第2類「まなび」の「リンク集」(No.65-75)に細分類した。検証により追加された「学校ウェブサイト評議委員会」は学校ウェブサイトの運営規定であった。

今回、アメリカの小学校ウェブサイトを対象とした調査の中で、最も「コンテンツ」が充実している小学校の場合は104アイテム中75アイテムが公開されていた。これに対して、「コンテンツ」の公開数が少ない学校の場合は、104アイテム中わずかに13アイテムであった。全体から見ると、第1類「広報」に属している「コンテンツ」の公開数が最も多く、発信率も比較的に高かった、第2類「まなび」と第4類「情報メディア」も「コンテンツ」の公開数が多かった。

「コンテンツ」の公開数からも見て取れるように、アメリカの小学校ウェブサイトの「コンテンツ」は、州や学校によるばらつきが大きかった。しかし、本研究の調査目的はユーザビリティの良い「コンテンツ」構成と新しい活用法の開発であるため、個別のウェブサイト「コンテンツ」の公開数の差は、特に重視するものではない。つまり、本調査目的にさしさわりのあるものではない。

アメリカの小学校ウェブサイト「コンテンツ」の多様性が全体的に日本に比べて豊かであると言える。その要因は、いくつか挙げられる。第一は小学校と国・州・市など管轄地域の教育委員会や地域の小学校・図書館などの連携が強いことで、例えば、図書情報の共有、メディア教材の共有などが多く見られた。第二は民間企業との提携関係が強いことで、例えば、メディア教材の開発、オンライン読書を推進するためのソフトの開発などが挙げられる。第三は、特に教科としては情報教育に関するものは見つけられなかったが、日ごろの学習に情報時代に子どもたちに必要になってくる技能、メディア情報の扱い方を積極的に取り入れているような関係者の姿勢が見えた。第四は情報メディアに対する教師の意識と知識が高いことで、例えば、教師自身がウェブサイトを持っている比率が高い。また、学校ウェブサイトを通じて、オンライン図書館のアクセスや宿題完成の参考リンク集など、日常の学習に活用できる情報を常に収集している教師が多いことも特徴的であった。以上の4つの要素はアメリカの小学校ウェブサイトの「コンテンツ」を調査した際に強く読み取れるところであった。このように、アメリカの小学校では外部との連携活動と教師の日々の

努力の積み重ねにより、学校ウェブサイトに掲載する以前に必要な情報が潜在的に蓄積され、学校ウェブサイトにおいて豊富な「コンテンツ」と活用法を生み出しているようである。

なお、検証の結果から、のべ113アイテム中111アイテムがこれまでの分類に該当し、また、2アイテムを追加して106アイテムに増えたが、上位の階層を変更する必要はなかった。したがって、本研究の「5類・5階層」104アイテムは高い妥当性を示したといえる。すなわち、構造化された本研究のコンテンツはアメリカの小学校ウェブサイトの「一般型」と見なせることを検証した。当然の事ながら、今後も時代と技術の進歩により小学校のウェブサイトがどんどん変容する可能性を考慮して、逐次、調査や検証を重ねて、更にアイテムを充実させていくことが必要であると考ええる。

## 9. おわりに

本研究では、小学校ウェブサイトを対象に限定し、アメリカの小学校ウェブサイト「コンテンツ」について調査し、コンテンツのユニットとなる小項目を生成した。続いて、小項目を整理整頓して104アイテムにまとめ、そこから「5類5階層」に構成した。

その結果から、

- ① アメリカの小学校ウェブサイト「コンテンツ」の特徴と公開状況が明らかになった。
- ② 本研究の日米両国の小学校ウェブサイト「コンテンツ」の比較により、日本にない「コンテンツ」とその活用法について、具体的なアイテムを挙げながら考察した。
- ③ 分類した結果を検証することで、構造化されたコンテンツはアメリカの小学校ウェブサイトの「一般型」であることが検証できた。同時に2アイテムを追加し、アイテムが全部で106アイテムになった。
- ④ 日米両国の小学校ウェブサイト「コンテンツ」公開アイテムの差をもたらしした要因の検討を試みた。

本調査の研究結果と新しい「コンテンツ」の活用法を取入れることで、「コンテンツ」(内容)の側面から小学校ウェブサイトのユーザビリティを高めることができる。更に「コンテンツ」の側面から、日本の小学校ウェブサイトの構築指針を提案することも可能である。

今後は、アメリカの「コンテンツ」を日本に適用できるか評価する必要があるので、本調査研究の結果得られ

た「コンテンツ」の構成を利用し、保護者、教師等を対象にヒューリスティクス評価法をはじめとする評価を行う予定である。

## 参考文献・参考 URL

- [1] <http://kids.glocom.ac.jp/eduwoods/schoolweb/index.html> [i-Learn.jp]
- [2] 市川尚・鈴木克明 1999 日本における小・中・高等学校 WWW ホームページの調査研究～黎明期における実態の把握と発信内容の分析 日本教育工学雑誌 22(3), 153-165
- [3] 庾海媛・椎名健 2003 日本における小学校ホームページの開設数調査と発信内容分類の試み 筑波大
- 学図書館情報メディア研究, Vol.1, No.1, pp39-49
- [4] リチャード・S・ワーマン著 金井哲夫訳 それは「情報」ではない エムディエヌコーポレーション pp.71-73.
- [5] 市川尚・鈴木克明 1999 Web 構築支援システムの詳細設計～ガイドラインの現状とモジュール実装への課題 教育メディア研究 6(1), pp12-19
- [6] <http://nces.ed.gov/surveys/frss/publications/2005015/2.asp>
- [7] <http://www.ed.gov/searchResults.jhtml?oq=Primary+Education&odq=Primary+Education&st=1&>
- (平成 17 年 9 月 30 日受付)
- (平成 18 年 1 月 11 日採録)

## 「発信内容」を表すカテゴリ 付録 1

第一カテゴリ	第二カテゴリ	項目番号
学校紹介	概要・特色・挨拶・校歌・校章・沿革・教育方針・教育目標・校訓・風景	1
学校の内容	組織・施設・校内図・所在地・カリキュラム・進路・数・教職員紹介・児童生徒紹介・制服・図書・卒業生・PTA	2
活動	行事・海外交流・授業実施・プロジェクト・とりくみ・生活	3
アナウンス	案内・ニュース	4
作品	作品・教材資料	5
クラス	学級・教科	6
児童生徒会	児童生徒会活動・委員会活動・クラブ活動	7
プライベート	教員・子ども・管理者	8
地域情報	地元・災害	9
新着情報	ページ・マーク	10
リンク	おすすめ・所属・教育関連・周辺地域・プロジェクト	11
ガイド	教育	12
返信	アンケート・掲示板	13
その他		14

市川・鈴木 (1999)

作成日 : 2005/8/30

アメリカ小学校ウェブサイト「コンテンツ」の構成（60 校） 付録 2

類	階 層					合計	アイテム 番号
	1	2	3	4	5		
第 1 類 広 報	たより				最新情報	23	1
					学校だより	7	2
					学年だより	10	3
					クラスだより	15	4
					校長だより	16	5
					新入生の案内	1	105
					家徴	14	6
					歴史	34	7
					キャンパスツアー	24	8
					受賞暦	5	9
	ねらい				方針	40	10
					目標	39	11
					特色	39	12
					年間指導要領	19	13
	こよみ				学年・教科ごとの指導案	12	14
					年間行事予定表	33	15
					日課表	14	16
					校則	15	17
	きまり				保護者責任事項	14	18
					学校教育に関する法律	2	19
	なりたち	職員			職員数	31	20
					氏名	31	21
					担当職務	10	22
					職員別メールアドレス	25	23
					職員別サイト	9	24
					TEL/FAX	13	25
					児童数	14	26
					学級編成	23	27
					政府支給分	4	28
					方法	12	29
	経 費	収入	寄付		窓口	11	30
					リンク集	9	31
					支出	1	32
					児童評価	13	33
	評 価				職員評価	5	34
					外部評価	7	35
					学力評価情報の開示	5	36
					マニュアル	7	37
	事務室	安全対策	非常時連絡		防災管理訓練	2	38
					WEB	1	39
					TEL	3	40
					ラジオ電波	1	41
					学校関連グッズの配給	10	42
					質問箱	2	43
					保健だより	5	44
					検診日程	1	45
					カウンセラー	6	46
					健康リンク集	6	47
	学校の しょうかい	保健室			質問箱	2	48
					給食だより	14	49
					メニュー	15	50
					ガイドライン	10	51
					栄養リンク集	10	52
					質問箱	5	53
					連携機関	9	54
					住所	51	55
					代表TEL/FAX	51	56
					WEBアドレス・E-mail	51	57
	アクセス				交通案内	22	58

第 2 類 ま な び	授 業				地理位置	35	59
					学習	13	60
					補習	1	61
					宿題	7	62
					実験・観察	9	63
					もの作り	3	64
					見学	3	65
					英語学習（外国語学習）	5	66
					国際理解	4	67
					ボランティア活動	4	68
	実 習				教科ごと	16	69
					興味 & ゲーム	25	70
					教育関連ニュース	20	71
					教材開発	16	72
					科目ごと	15	73
					児童教育	14	74
					関連法律	12	75
					職員研究活動	10	76
					イベント	26	77
					クラブ活動	14	78
	リンク集	児童	職員	保護者	児童委員会	4	79
					PTAだより	18	80
					ガイドライン	13	81
					組織	15	82
					イベント	16	83
					質問箱	12	84
					ガイドライン	2	85
					参加手続き	5	86
					支援内容	4	87
					地域情報	10	88
	第 3 類 交 流	PTA			図書だより	17	89
					イベント	14	90
					読書リスト	12	91
					本の評価リスト	9	92
					読書評価チェックリスト	2	93
					ネット読書	25	94
					検索エンジンリスト	27	95
					検索エンジンの評価	6	96
					検索エンジン評価法	1	97
					WEB情報評価法	2	98
	第 4 類 情 報 メ デ イ ア	図書室			情報評価リンク集	2	99
					管理	7	100
					質問箱	14	101
					学校ウェブサイト評議委員会	1	106
					WEBガイドライン	3	102
					NETWORK利用ガイドライン	6	103
					質問箱	10	104

※太字になっているアイテムは、検証調査後に追加した2アイテムです。

作成日：2006/1/18



## つくば市小学校ウェブサイト「コンテンツ」の構成（36校） 付録3

類	階 層		合計	項目番号
	1	2		
第一類 広報類	学校紹介	学校概要	31	1
		教育目標	24	2
		学校特色	16	3
		学校環境	23	4
		地理位置	21	5
		年間行事	25	6
		月間行事	25	7
		新着情報	10	8
	学校構成	教員	19	9
		教員紹介	12	10
		学級	29	11
		学級紹介	8	12
		児童数	19	13
	地域情報	行事案内	3	14
		名所案内	9	15
第二類 デジタルイニシアチブソース	実験・観察活動	実験活動	18	16
		観察活動	22	17
	調査	環境調査	22	18
		自然風土調査	20	19
		歴史伝統調査	9	20
	ボランティア活動	福祉活動	6	21
		国際交流活動	10	22
	ものづくり	農作業体験	17	23
		リサイクル	5	24
	クラブ活動	ごみの清掃	6	25
			8	26
第三類 コラボレーションのための呼びかけ	共同学習・調査の呼びかけ 学校内		4	27
	学校間交流の呼びかけ 学校外		3	28
第四類 コミュニティの窓口	教員メールアドレス		1	29
	お問い合わせメール		32	30
	校内掲示板		3	31
	PTA活動の紹介		17	32
	同窓会		1	33
第五類 ネットワーク	WEBガイドライン		8	34
	NETWORK利用ガイドライン		3	35
	ネット学習		3	36

作成日：2005/8/30

## アメリカ小学校ウェブサイトの調査校リスト（一次調査） 付録4

State	School Name	Address
Washington	Coulee City Elementary	<a href="http://www.achsd.org/">http://www.achsd.org/</a>
(WA)	2Adams Elementary school	<a href="http://www.seattleschools.org/schools/adams/a5.html">http://www.seattleschools.org/schools/adams/a5.html</a>
California	Allen Avenue Elementary	<a href="http://www.bonita.k12.ca.us/allen/default.htm">http://www.bonita.k12.ca.us/allen/default.htm</a>
(CA)	Boulder Creek Elementary	<a href="http://www.bce.slv.k12.ca.us/">http://www.bce.slv.k12.ca.us/</a>
Arizona	Desert Sage Elementary School	<a href="http://desertsage.dvusd.org/">http://desertsage.dvusd.org/</a>
(AZ)	Constitution Elementary School	<a href="http://constitution.dvusd.org/">http://constitution.dvusd.org/</a>
North Dakota	School	<a href="http://forks.k12.nd.us/education/school/school.php?sectionid=7">forks.k12.nd.us/education/school/school.php?sectionid=7</a>
(ND)	Jeeferon Elementary School	18830
Missouri	Eugene Field Elementary School	<a href="http://www.columbia.k12.mo.us/fie/">http://www.columbia.k12.mo.us/fie/</a>
(MO)	Antonia Elementary School	<a href="http://www.fox.k12.mo.us/antonia/">http://www.fox.k12.mo.us/antonia/</a>
Texas	Ballinger Elementary School	<a href="http://ballinger.netxv.net/bes.htm">http://ballinger.netxv.net/bes.htm</a>
(TX)	Alice Ponder Elementary School	<a href="http://www.mansfieldisd.org/ponder/welcome.htm">http://www.mansfieldisd.org/ponder/welcome.htm</a>
Maine	Alton Elementary School	<a href="http://www.memphis-schools.k12.tn.us/schools/alton.es/">http://www.memphis-schools.k12.tn.us/schools/alton.es/</a>
(ME)	Acton Elementary School	<a href="http://www.acton.k12.me.us/index.php">http://www.acton.k12.me.us/index.php</a>
North Carolina	Ansonville Elementary School	<a href="http://www.anson.k12.nc.us/aes.htm">http://www.anson.k12.nc.us/aes.htm</a>
(NC)	Arts Based Elementary School	<a href="http://www.wsabes.org/default.aspx">http://www.wsabes.org/default.aspx</a>
Florida	Allamanda Elementary	<a href="http://www.palmbeach.k12.fl.us/allamandaes/">http://www.palmbeach.k12.fl.us/allamandaes/</a>
(FL)	Anna Maria Elementary	<a href="http://ame.annamaria.net/">http://ame.annamaria.net/</a>

全18校（9州）

調査期間：2005年5月上旬から6月中旬まで

## アメリカ小学校ウェブサイトの調査校リスト (二次調査) 付録 5

State	School Name	Address
Massachusetts (MA)	School	<a href="http://www.beauvoirschool.org/">http://www.beauvoirschool.org/</a>
Montana (MT)	Big Sky Elementary School	<a href="http://www.bigskyjapan.com/students/index.html">http://www.bigskyjapan.com/students/index.html</a>
Utah (UT)	Backman Elementary School	<a href="http://backman.slc.k12.ut.us/">http://backman.slc.k12.ut.us/</a>
Colorado (CO)	Shepardson Elementary School	<a href="http://schoolweb.psdschools.org/she/">http://schoolweb.psdschools.org/she/</a>
New Mexico (NM)	Hermosa Heights Elementary	<a href="http://hermosahts.lcps.k12.nm.us/">http://hermosahts.lcps.k12.nm.us/</a>
North Dakota (ND)	Carl Ben Eielson Elementary School	<a href="http://forks.k12.nd.us/education/school/school.php?sectionid=7">forks.k12.nd.us/education/school/school.php?sectionid=7</a>
South Dakota (SD)	West Elementary School	<a href="http://spearfish.k12.sd.us/west/">http://spearfish.k12.sd.us/west/</a>
Nebraska (NE)	Brownell Elementary	<a href="http://brownell.lps.org/">http://brownell.lps.org/</a>
Kansas (KS)	Harry Street Elementary School	<a href="http://www.usd259.com/elementary/harry-street.html">http://www.usd259.com/elementary/harry-street.html</a>
Oklahoma (OK)	Cleveland Elementary School	<a href="http://www.norman.k12.ok.us/112/">http://www.norman.k12.ok.us/112/</a>
Minnesota (MN)	Chelsea Heights	<a href="http://chelsea.spps.org/">http://chelsea.spps.org/</a>
Iowa (IA)	Irving Elementary School	<a href="http://www.indianola.k12.ia.us/irving/">http://www.indianola.k12.ia.us/irving/</a>
Arkansas (AR)	Asbell Elementary School	<a href="http://etailid=74&amp;sc_timestamp=1119251274">etailid=74&amp;sc_timestamp=1119251274</a>
Louisiana (LA)	Bienville Elementary School	<a href="http://www.nops.k12.la.us/SchoolWebs/Bienville/Default.htm">http://www.nops.k12.la.us/SchoolWebs/Bienville/Default.htm</a>
Wisconsin (WI)	Holmes Elementary School	<a href="http://www2.milwaukee.k12.wi.us/holmes/">http://www2.milwaukee.k12.wi.us/holmes/</a>
Illinois (IL)	Abraham Lincoln Elementary School	<a href="http://www.lincoln.cps.k12.il.us/">http://www.lincoln.cps.k12.il.us/</a>
Tennessee (TN)	Charlotte Park Elementary School	<a href="http://www.480annex.org/">http://www.480annex.org/</a>
Mississippi (MS)	Barr Elementary School	<a href="http://www.jackson.k12.ms.us/school_sites/barr/">http://www.jackson.k12.ms.us/school_sites/barr/</a>
Michigan (MI)	Bach Elementary School	<a href="http://www.aaps.k12.mi.us/bach.home">http://www.aaps.k12.mi.us/bach.home</a>
Indiana (IN)	Binford Elementary School	<a href="http://www.binford.mccsc.edu/">http://www.binford.mccsc.edu/</a>
Kentucky (KY)	Bald Knob Elementary School	<a href="http://www.franklin.k12.ky.us/bk/bald_knob_elementary_school.htm">http://www.franklin.k12.ky.us/bk/bald_knob_elementary_school.htm</a>
Alabama (AL)	Arcadia Elementary School	<a href="http://www.arcadia.tusc.k12.al.us/index.html">http://www.arcadia.tusc.k12.al.us/index.html</a>
Ohio (OH)	Cedarville Elementary School	<a href="http://www.cedarcliff.k12.oh.us/elhome.htm">http://www.cedarcliff.k12.oh.us/elhome.htm</a>
New York (NY)	Fall Creek Elementary School	<a href="http://www.icsd.k12.ny.us/fallcreek/">http://www.icsd.k12.ny.us/fallcreek/</a>
Pennsylvania (PA)	Ethan Allen Elementary School	<a href="http://www.phila.k12.pa.us/schools/ethanallen/">http://www.phila.k12.pa.us/schools/ethanallen/</a>
West Virginia (WV)	Westover Elementary School	<a href="http://boe.mono.k12.wv.us/westover/welcome.html">http://boe.mono.k12.wv.us/westover/welcome.html</a>
Wernmont (VT)	Lawrence Barnes School	<a href="http://www.bsdtvt.org/schools/barnes/">http://www.bsdtvt.org/schools/barnes/</a>
New Hampshire (NH)	Bartlett Elementary School	<a href="http://www.goffstown.k12.nh.us/Bartlett/">http://www.goffstown.k12.nh.us/Bartlett/</a>
Rhode Island (RI)	Underwood School	<a href="http://newportschools.org/Underwood/Underwoodindex.html">http://newportschools.org/Underwood/Underwoodindex.html</a>
Connecticut (CT)	Holmes Elementary School	<a href="http://www.darien.k12.ct.us/holmes/">http://www.darien.k12.ct.us/holmes/</a>
New Jersey (NJ)	Kings Road Elementary School	<a href="http://www.madisonpublicschools.org/krs/kingsroad.htm">http://www.madisonpublicschools.org/krs/kingsroad.htm</a>
Delaware (DE)	West Park Place Elementary School	<a href="http://www.christina.k12.de.us/westpark/">http://www.christina.k12.de.us/westpark/</a>
Maryland (MD)	Paint Branch Elementary School	<a href="http://www.pgcps.org/~pbranch/">http://www.pgcps.org/~pbranch/</a>
Virginia (VA)	Baker-Butler Elementary School	<a href="http://schoolcenter.k12albemarle.org/education/school/school.php?sectionid=6">http://schoolcenter.k12albemarle.org/education/school/school.php?sectionid=6</a>
Washington (DC)	Stoddert Elementary School	<a href="http://www.stoddert.org/">http://www.stoddert.org/</a>
South Carolina (SC)	Cottageville Elementary School	<a href="http://www.colleton.k12.sc.us/Schools/Ces/">http://www.colleton.k12.sc.us/Schools/Ces/</a>
Georgia (GA)	Gaines Elementary School	<a href="http://www.clarke.k12.ga.us/do/schoolView?id=242">http://www.clarke.k12.ga.us/do/schoolView?id=242</a>
Idaho (ID)	Lena Whitmore Elementary School	<a href="http://www.sd281.k12.id.us/schools/Lena/Index.htm">http://www.sd281.k12.id.us/schools/Lena/Index.htm</a>
Wyoming (WY)	Paintbrush Elementary School	<a href="http://cyberkids.ccsd.k12.wy.us/Paintbrush/paintbrush_homepage.html">http://cyberkids.ccsd.k12.wy.us/Paintbrush/paintbrush_homepage.html</a>
Oregon (OR)	Edgewood Elementary School	<a href="http://www.homewood.k12.al.us/edgewood/">http://www.homewood.k12.al.us/edgewood/</a>
Nevada (NV)	Mountain View Elementary School	<a href="http://ccsd.net/schools/mtnview/">http://ccsd.net/schools/mtnview/</a>
Alaska (AK)	NORTH POLE ELEMENTARY	<a href="http://www.northstar.k12.ak.us/schools/npe/npe.html">http://www.northstar.k12.ak.us/schools/npe/npe.html</a>
Hawaii (HI)	Aina Hain Elementary School	<a href="http://www.k12.hi.us/~ainahain/">http://www.k12.hi.us/~ainahain/</a>

全42校 (41州+DC)

調査期間：2005年6月下旬から8月上旬まで

## アメリカ小学校ウェブサイトの調査校リスト (三次調査) 付録 6

Mark	State	School Name	Address
A	Massachusetts (MA)	Alice B. Beal Elementary	<a href="http://www.sps.springfield.ma.us/schoolsites/beal/index.html">http://www.sps.springfield.ma.us/schoolsites/beal/index.html</a>
B	Texas (TX)	Joseph J. Rhoads Elementary School	<a href="http://es.houstonisd.org/RhoadsES/">http://es.houstonisd.org/RhoadsES/</a>
C	North Carolina (NC)	Triangle Elementary School	<a href="http://schools.guilford.k12.nc.us/spages/tomlinson/index.htm">http://schools.guilford.k12.nc.us/spages/tomlinson/index.htm</a>
D	California (CA)	Meridian Elementary School	<a href="http://www.cajon.k12.ca.us/schools/meridian/index.html">http://www.cajon.k12.ca.us/schools/meridian/index.html</a>
E	Iowa (IA)	Scranton Elementary School	<a href="http://www.jefferson-scranton.k12.ia.us/jsse/">http://www.jefferson-scranton.k12.ia.us/jsse/</a>

調査期間：2006年1月16日-18日